

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	土地改良費	280

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	土地改良
事業目的	土地改良施設（用水路、ため池等）を適切に維持管理することで、農業用水の安定供給を図るとともに地域排水機能を維持する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設（用水路、ため池等）を適切に維持管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○土地改良（排水）事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気料金（ポンプ場、転倒堰） 644,098円 ほ場整備確定測量成果データ化業務委託 1,045,000円 ため池防災支援システム利用料 66,000円 濃尾用水地区用排水対策協議会負担金 2,000円 尾張西部排水対策推進協議会負担金 10,000円 <p>○土地改良（排水）施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 揚水機場保守点検委託（一本杉ポンプ場外4箇所） 605,000円 堰、ゲート保守点検委託 47,300円 土地改良施設維持管理委託 12件 3,142,040円 ため池草刈り等業務委託 28件(57池) 5,476,584円 ため池水位監視システム観測機器保守点検業務委託 297,000円 土地改良施設維持工事（地元要望） 28件 9,868,650円 木津用水排水負担金 8,371,000円 木津用水路汚水処理施設維持管理費負担金 7,398,000円 入鹿用水土地改良区施設維持管理負担金 4,861,909円
事業の成果・効果	土地改良施設（用水路、ため池等）の補修工事、除草、浚渫や施設点検などの実施により、農業用水の供給や排水機能が著しく滞る事がなく、管理することができた。

II : 個別事業内訳

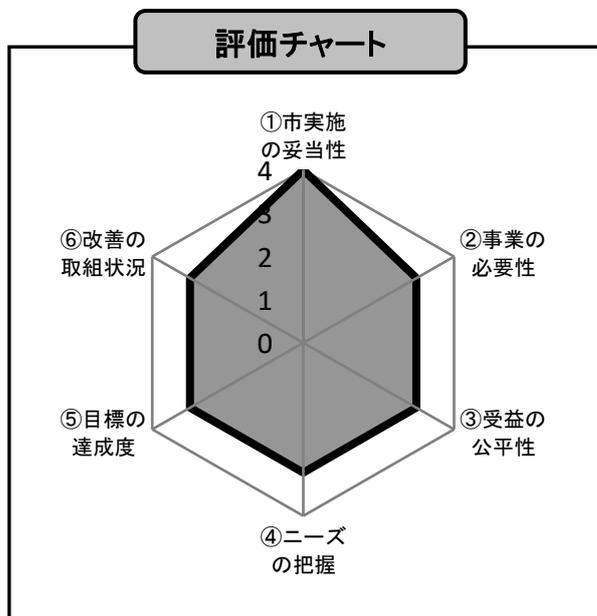
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
土地改良（排水）事務	1,787	117	1,670	93%	3	3	3
土地改良（排水）施設管理	40,191	0	40,191	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	41,978	117	41,861	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		41,907	41,978	44,380
財源内訳	国県支出金	169	57	171
	地方債	0	0	0
	その他	59	60	45
	一般財源	41,679	41,861	44,164
一般財源の割合		99%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	用水路、ため池等の管理は、犬山市法定外公共用物の管理に関する条例第2条の規定により、市が行う。
②事業の必要性	3	農業用排水路やため池は、地域の雨水排水や洪水調整池としての機能も有しており、農業従事者のみならず、市民生活の安心・安全にも寄与する事業であり、優先度は高いと考える。
③受益の公平性	3	農業用排水路やため池は、地域の雨水排水や洪水調整池としての機能も有しており、事業効果は農業従事者のみならず広範囲に及ぶ。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	3	雑草繁茂による苦情はあるものの、農業用水の供給や排水機能が著しく滞ることなく、管理することができた。
⑥改善の取組状況	3	故障すると取水困難や水害の要因となる堰・ゲート等については、農閑期に点検を行い、計画的に補修を行う。用水路の補修は、地元要望に基づき緊急性など優先度を考慮しながら実施する。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	地元要望箇所の現地調査を行い、緊急性など優先度を判断しながら施設の維持補修等を実施した。
令和6年度に見直しを実施している事項	地元要望箇所の現地調査を行い、緊急性など優先度を判断しながら施設の維持補修等を実施する。
今後見直しを検討する事項	限られた財源内で効率よく維持管理を行うため、地元からの要望を精査し、緊急性や補助事業での対応の可否等を検討したうえで、迅速に対応していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
各施設の老朽化	堰・ゲート等については、農閑期に損傷具合や動作確認等の点検を行い不具合を調整し、次年度の取水時期に備える。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5	1	4	林業振興費	282

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	林道管理
事業目的	林道管理者として、林道を常時良好な状態に保てるよう維持補修し、通行に支障を及ぼさないよう管理する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林道管理者として、林道の通行に支障が無いよう維持補修等を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○林道管理 <ul style="list-style-type: none"> ・林道維持補修工事 1件 99,000円
事業の成果・効果	路面補修を行うなど、通行に支障が無いよう維持管理することができた。

II : 個別事業内訳

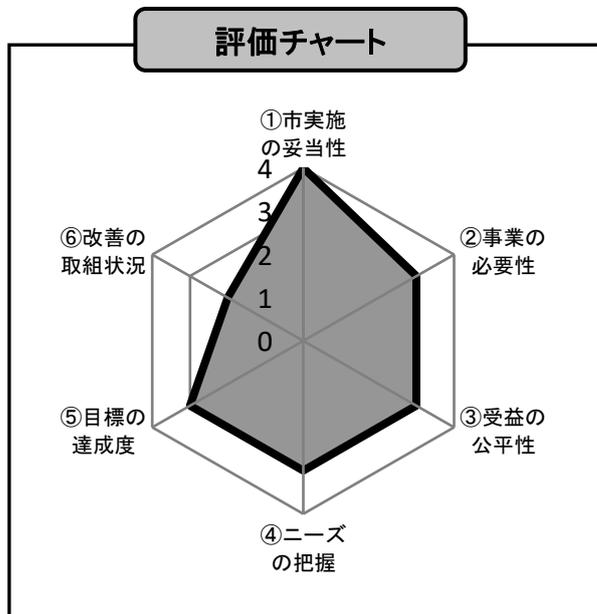
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
林道管理	99	0	99	100%	2	2	2
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	99	0	99	100%	2	2	2

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		-	99	136
財源内訳	国県支出金	-	0	0
	地方債	-	0	0
	その他	-	0	0
	一般財源	-	99	136
一般財源の割合		-	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	林道管理規程第5条に定める管理者である市が実施する。
②事業の必要性	3	林道の維持管理を行っていく上で事業の継続は必須であるが、非常時には、要望等の事業は縮小も止むを得ない事業である。
③受益の公平性	3	林道の利用者は少ないが、公道であるため公共性は高い。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	3	通行に支障が無いような維持管理はできている。
⑥改善の取組状況	2	現在の利用状況を鑑み、必要最小限の維持管理としており、規模の大きな補修工事については、災害復旧事業を有効活用していく。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	最低限の管理としており、特になし。
令和6年度に見直しを実施している事項	最低限の管理としており、特に予定はない。
今後見直しを検討する事項	最低限の管理としており、特に予定はない。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
利用者が限られているため、補修箇所の発見が遅れる。	定期的なパトロールや地元役員と連携し、不具合の早期発見に努める。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	1	1	土木総務費	298

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	土木管理事務
事業目的	道路、水路、公園緑地等の管理者として、施設を常に良好な状態に保ち、利用者に支障を及ぼさないよう管理する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路、水路、公園等の管理者として、施設を常に良好な状態に保ち、利用者に支障を及ぼさないよう管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○土木管理事務</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬費 土木常設員44名分の報酬 1,364,000円 光熱水費 電気料金（街路灯、道路照明灯、観光街路灯等） 17,516,611円 役務費 火災保険料（道路管理賠償責任保険料） 963,880円 委託料 測量登記委託料（道路内民地処理、道路水路境界確定） 4,911,574円 道路台帳更新委託料（台帳データ等年度更新、背景現況図更新） 8,052,000円 公有財産購入費 土地購入費（道路水路等の用地整理） 541,622円 ライン大橋管理組合負担金 465,642円 犬山市、各務原市で日常管理に要する経費を1/2ずつ負担 <p>○公開型GISシステム運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開型GISシステム更新業務委託料 道路台帳情報更新（検索用地番図含む4レイヤー） 1,375,000円 公開型GISシステムサービス使用料 ASP使用料（サーバー保守及び使用料） 550,000円
事業の成果・効果	道路、水路、公園等の適正な管理により利用者への支障も無く、また占用・承認工事等の各種許認可申請の処理、道路台帳の更新、官民境界確定、道路内民地処理等を適正に実施している。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

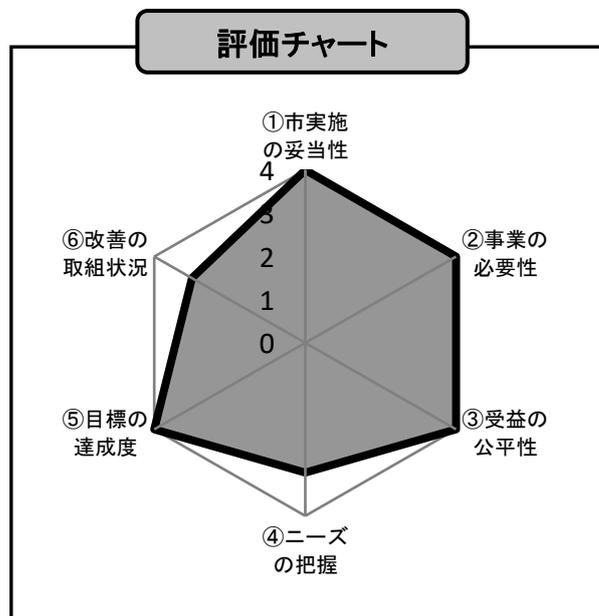
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
土木管理事務	35,148	34,358	790	2%	3	4	4
公開型GISシステム運用	1,925	0	1,925	100%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	37,073	34,358	2,715	7%	3	4	4

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		48,569	37,073	56,028
財源内訳	国県支出金	0	0	1,869
	地方債	0	0	0
	その他	35,962	34,358	34,500
	一般財源	12,607	2,715	19,659
一般財源の割合		26%	7%	35%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	市道の管理については、道路法第16条により市が実施することとなる。
②事業の必要性	4	道路等の維持管理には用地の適正管理が必要不可欠である。
③受益の公平性	4	行政財産である道路を適正に管理するための測量・境界確定は、市民の財産を保全する役割を有している。
④ニーズの把握	3	道路、水路、公園緑地その他付属設備の改善・修繕について地元(市民)からの要望を把握している。
⑤目標の達成度	4	道路、水路、公園等の占用・承認工事等の各種許認可申請の処理、道路台帳の更新、官民境界確定、道路内内地処理等の管理事務を年間通じて適正に行っている。
⑥改善の取組状況	3	来庁しなくてもよい仕組みの一つとして公開型GISを用いて道路台帳情報をWEB上で公開しており、その情報の充実を図っている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	犬山駅東からくり広場について、独占利用時間の設定を午前8時から午後8時までとしていたものを、午前7時から午後10時までに改正し利用者の利便性向上を図った。
令和6年度に見直しを実施している事項	使用料等の債権管理を令和4年度策定の当課ガイドラインにより適切に運用するとともに、銀行口座引落とし等債務者の利便性の向上も検討する。
今後見直しを検討する事項	今後も土木管理事務全般事業について、必要性、改善点、コスト面について検討を行なう。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
窓口での許認可事務処理では、国・県・他市町の先進事例でも電子化への対応に関して、コストに比べ事務の簡素化等に繋がらない状況となっている。	最新動向を注視しながら、費用対効果も踏まえて市民等の利便性向上に向け研究していく。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	300

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	道路維持修繕
事業目的	ライフラインである道路を安全で快適に利用できるよう適正に維持管理する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元要望に基づき、道路施設の新設・改修・維持補修等工事を行い、施設の適正管理に努める。 ・道路面の穴ぼこ、側溝のふた割れ等危険な箇所は、速やかに補修し、事故防止に努める。 ・舗装や側溝の劣化が激しく広範囲にわたり、全面改修が必要な路線は、計画的に実施する。 ・地元要望による街路灯の新設や、灯具の取替を行うことで、安心・安全なまちづくりに寄与する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○道路補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路維持工事 192件 58,984,200円 ・舗装維持補修工事 43件 28,355,800円 ・道路側溝改修工事（計画的な改修） 7,198,400円 市道犬山210号線、市道犬山150号線、市道犬山214号線 ・舗装改修工事（計画的な改修） 102,768,600円 市道犬山公園小牧線、市道富岡荒井線 市道犬山41号線、市道羽黒西154号線外2、市道羽黒東28号線 <p>○道路交通安全施設修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路灯設置工事 6件(36基) 1,289,750円 ・道路安全施設維持工事 41件 8,095,877円 ・街路灯維持工事 39件 5,525,190円 ・LED道路照明灯借上料（1年分） 1,775,520円 リース期間（平成30年12月1日～令和10年11月30日）
事業の成果・効果	地元要望や改修計画に基づく、舗装・側溝・防護柵など道路施設の維持補修により、ライフラインである道路を安全で快適に利用できるよう維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

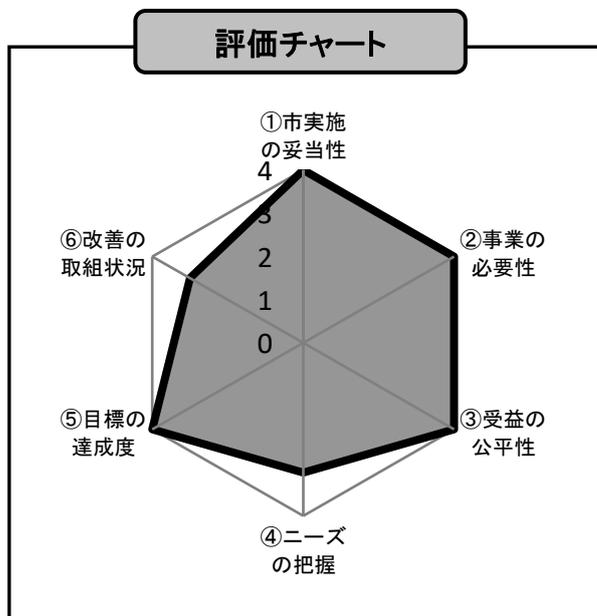
(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
道路補修	199,764	36,999	162,765	81%	3	3	3
道路交通安全施設修繕	16,807	0	16,807	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	216,571	36,999	179,572	83%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		193,877	216,571	226,465
財源内訳	国県支出金	11,126	14,126	17,500
	地方債	10,000	12,700	101,000
	その他	9,607	10,173	7,133
	一般財源	163,144	179,572	100,832
一般財源の割合		84%	83%	45%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	道路施設を適正に管理することは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の道路施設を対象としており、不特定多数が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望(ニーズ)を把握している。
⑤目標の達成度	4	道路関係の令和5年度要望実施率は69.1%で、当初目標値60%を上回ることができた。
⑥改善の取組状況	3	限られた財源内で、適切な維持管理を行うため、地元要望箇所の現地調査を行い、緊急性や必要性などから優先順位を判断し、補修・改修を実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	地元要望箇所の現地調査を行い、緊急性や必要性などから優先順位を判断し、補修・改修を実施した。
令和6年度に見直しを実施している事項	施設の劣化進行状況や他事業(水道・下水道・ガス等)との調整などにより、既存改修計画(舗装・側溝)の見直しを行う。
今後見直しを検討する事項	今後の維持管理を効率的に行うためには、時点毎での施設の適切な現状把握が重要となるため、施設の健全度評価や劣化度予測に必要なデータの整備を行い、効果的な施設計画の策定につなげる。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
道路施設の老朽化対策	老朽化による施設の経年劣化が更に拡大することが予想され、施設を健全な状態で保全するための維持管理費用が増大するため、計画的な維持管理手法による予算の平準化を図れるよう、改修計画策定の基礎となる施設点検、現状調査等の実施を検討する。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	300

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	道路施設等管理
事業目的	道路を安全で快適に利用できるよう清掃、街路樹剪定、除草など道路施設の維持管理を行う。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールによる簡易な補修、路肩の除草、幹線道路の路面清掃、道路植栽帯の街路樹剪定や除草など、道路を安全に通行利用できるよう適正に施設管理を行う。 交差点や横断歩道付近など、道路利用者の視認性を妨げ事故の要因となりうる街路樹の伐採撤去を行う。 <p>●主な事業内容</p> <p>○道路施設等管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（凍結防止剤、保安用品等） 699,651円 道路作業業務委託（市内全域 道路パトロール・作業等） 10,230,000円 道路雪水対策委託（市道名古屋犬山線外30） 1回分 1,940,591円 路面清掃作業委託（1・2級 道路路肩 年1回） 1,320,000円 側溝浚渫委託 5件 755,700円 試験調査委託 1,617,000円 土のう回収委託（町内等による清掃の土砂等回収処分） 17件 2,085,600円 トンネル調査・修繕設計業務委託（城下トンネル） 18,643,900円（繰越明許） 城下トンネル改修工事 99,386,100円 <p>○道路植樹等管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路植栽帯管理業務委託（市道名古屋犬山線外35） 11,330,000円 道路除草委託 27,591,000円 街路樹剪定委託 4,709,100円 倒木処理・はみ出し枝処理委託 8件 1,556,500円 <p>○道路植栽帯改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路樹伐採委託（市道名古屋犬山線、市道犬山公園小牧線） 9,927,500円
事業の成果・効果	道路パトロールの実施や簡易な補修、路面清掃、路肩や道路植栽帯の除草、街路樹剪定など維持管理業務を、業務委託および職員により実施し、年間通じて道路を安全に通行利用できるよう維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

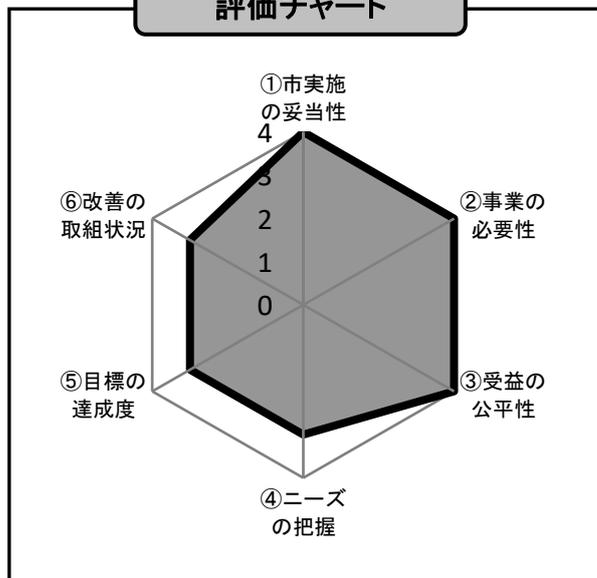
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
道路施設等管理	136,679	49,351	87,328	64%	3	3	3
道路植樹等管理	45,259	0	45,259	100%	3	3	3
道路植栽帯改修	9,927	0	9,927	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	191,865	49,351	142,514	74%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		63,617	191,865	88,316
財源内訳	国県支出金	0	28,451	0
	地方債	0	20,900	0
	その他	0	0	0
	一般財源	63,617	142,514	88,316
一般財源の割合		100%	74%	100%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	道路施設を適正に管理することは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の道路施設を対象としており、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書により、利用者の要望(ニーズ)を把握している。
⑤目標の達成度	3	年間の維持管理業務は概ね予定どおりにを行うことはできた。除草や街路樹剪定については、通行に支障がある箇所を優先的に実施している。
⑥改善の取組状況	3	事業の妥当性、維持管理コストの検討等を考慮しながら実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	道路利用者の安全性を考慮した街路樹管理を行うため計画した街路樹撤去を進めた。
令和6年度に見直しを実施している事項	引き続き、計画に基づく街路樹撤去を進め、対象とした街路樹の撤去を完了する。街路樹本数削減により、街路樹剪定サイクルを3年から2年に短縮して実施する。
今後見直しを検討する事項	街路樹伐採後は、交差点や横断歩道付近などの安全対策として、張コンクリート等による道路植栽帯の雑草繁茂対策や、防護柵設置による乱横断防止対策などを検討する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
道路の草刈りについては、高齢化等で地域の方々による実施が困難となったことなどにより、要望が増加している。	雑草繁茂については、除草委託や張コンクリート・防草シート等による雑草抑制対策など、現場状況に合った手法をコスト面も踏まえて検討する。また、地域活動による除草管理を継続して頂けるよう支援策を検討する。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	300

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	駅前広場維持管理
事業目的	駅前広場の管理者として、施設を良好な状態に保てるよう清掃や点検、維持補修を行うなど、日常の利用に支障がでないよう適正に維持管理する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務など日常的な維持管理により、駅利用者等が快適に利用できるよう努める。 ・清掃や定期点検により発見された施設の不具合については、速やかに修繕等を行う。 ・犬山駅東西連絡橋の長寿命化を図るため、施設点検（5年毎）の結果に基づき計画的に改修工事を行う。 <p>●主な事業内容</p> <p>○駅前広場管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費（電気、水道、下水道） 4,062,499円 ・犬山駅前広場維持管理業務委託（清掃、除草、樹木剪定、花壇管理） 3,741,540円 ・犬山駅昇降機保守点検委託（エスカレーター2基、エレベーター2基） 2,059,200円 ・犬山駅前広場モニメント等保守点検業務委託（からくり時計） 462,000円 ・犬山駅前広場公衆便所清掃委託 1,188,000円 ・楽田駅前広場公衆便所清掃委託 660,000円 ・犬山駅東西連絡橋清掃管理業務委託 1,504,800円 ・犬山駅東西連絡橋消防設備及び電気保守点検業務委託 143,000円 ・駅前広場維持工事 15件 2,909,720円 <p>○犬山駅東西連絡橋改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山駅東西連絡橋改修工事（西側階段部外壁タイル改修） 10,887,800円
事業の成果・効果	清掃など日常管理や老朽化や事故などによる施設損傷の補修対応については適宜実施するなど、年間を通して駅利用者等が安全かつ快適に利用できるよう施設管理を行うことができた。

II : 個別事業内訳

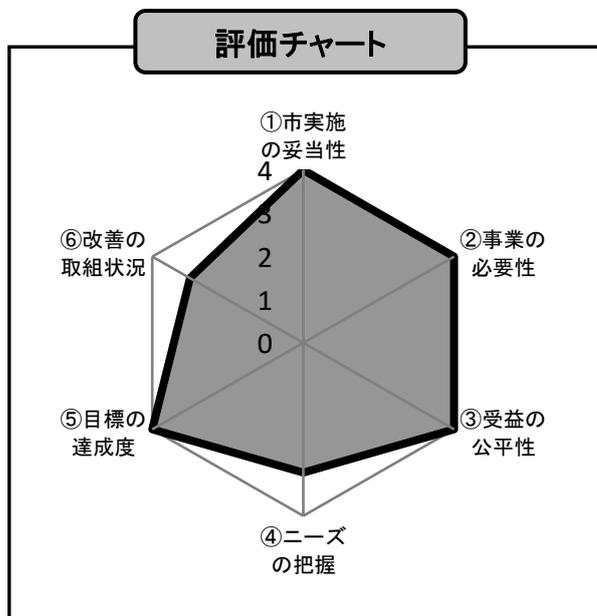
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
駅前広場管理	17,514	1,575	15,939	91%	3	3	3
犬山駅東西連絡橋改修	10,888	0	10,888	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	28,402	1,575	26,827	94%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		28,083	28,402	22,835
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	3,069	1,575	2,642
	一般財源	25,014	26,827	20,193
一般財源の割合		89%	94%	88%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	駅前広場は市管理地であるため、市が維持管理を行う。
②事業の必要性	4	駅前広場を安全で快適に利用できるよう維持管理をすることは、管理者として必須な事業である。
③受益の公平性	4	通勤、通学や観光客など、不特定多数の人々が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望書等により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	清掃など日常管理を行い、施設損傷の補修対応については適宜実施するなど、年間通して駅利用者等が安全かつ快適に利用できるよう施設管理を概ね行うことができた。
⑥改善の取組状況	3	施設点検により健全度を把握し、予防保全的な改修工事を計画的に行うことで、ライフサイクルコストを軽減し、経費の平準化を図っていく。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	犬山駅東西連絡橋改修計画（R4～7）に基づき、西側階段部外壁タイルの改修工事を行った。
令和6年度に見直しを実施している事項	エレベーター定期点検の結果に基づき、劣化した部品・部材の取替等を行う。
今後見直しを検討する事項	エレベーターの老朽化が進んでいるため、定期点検の結果を注視し、適切な時期に劣化した部品・部材の取替等を行い、利用者の安全を確保する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
東西連絡橋施設の老朽化	施設点検により健全度を把握し、予防保全的な改修工事を計画的に行うことで、ライフサイクルコストを軽減し、経費の平準化を図っていく。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	2	1	道路維持費	300

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	交通安全総点検対策
事業目的	「通学路交通安全プログラム」に基づき、計画的かつ継続的に通学路安全対策整備に取り組み、児童・生徒たちが安心して通学できる歩行空間の確保を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 ・「通学路交通安全プログラム」による年度計画に基づき、グリーンベルトやカラー舗装などの整備を重点的に行う。 ●主な事業内容 ○交通安全総点検対策 通学路安全対策工事（令和5年度） 10,540,200円 ・市道犬山富士線（犬山字北古券地内） <ul style="list-style-type: none"> カラー舗装(緑色) A=104.79㎡、カラー舗装(赤色) A=68.30㎡ 外側線(実線) L=166.0m、文字(通学路注意) N=1箇所 ・市道五郎丸54号線（五郎丸字ニタ俣地内外） <ul style="list-style-type: none"> カラー舗装(緑色) A=47.25㎡、カラー舗装(赤色) A=32.00㎡ ・市道犬山今井中線（今井四丁目地内） <ul style="list-style-type: none"> カラー舗装(緑色) A=78.24㎡、カラー舗装(赤色) A=12.70㎡ ・市道犬山127号線外5（犬山字上時迫間地内外） <ul style="list-style-type: none"> 外側線(実線) L=1,647.1m、停止指導線 L=155.4m 交差点マーク(十字) N=8ヶ所、交差点マーク(T字) N=16ヶ所
事業の成果・効果	「通学路交通安全プログラム」による年度計画に基づく、グリーンベルト、カラー舗装、外側線設置などの安全対策整備を完了した。

II : 個別事業内訳

(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

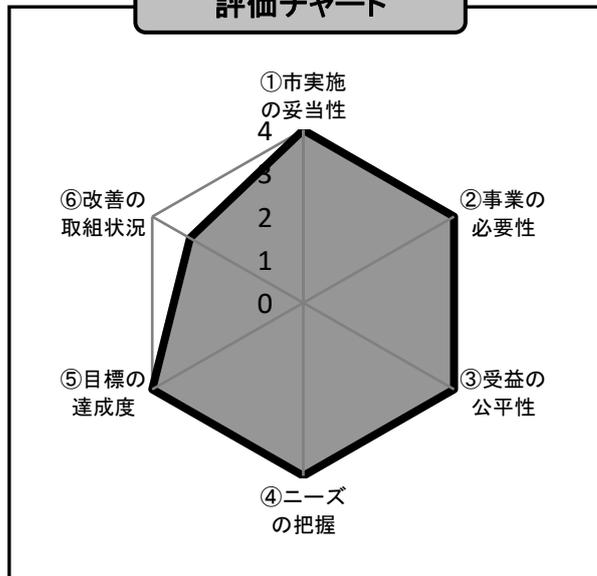
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
交通安全総点検対策	10,540	8,884	1,656	16%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	10,540	8,884	1,656	16%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		47,881	10,540	16,360
財源内訳	国県支出金	19,741	2,880	2,750
	地方債	14,500	2,100	12,200
	その他	8,522	3,904	1,410
	一般財源	5,118	1,656	0
一般財源の割合		11%	16%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	交通弱者である未就学児、児童、生徒にとって安心・安全な歩行空間を確保できるよう安全対策を講ずることは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の通学路が対象であり、通学する児童・生徒など市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	4	P T Aからの通学路安全対策要望等により、利用者の要望(ニーズ)を把握している。
⑤目標の達成度	4	「通学路交通安全プログラム」に基づき、令和5年度に予定していたグリーンベルト、カラー舗装、外側線設置などの安全対策整備が完了した。
⑥改善の取組状況	3	P T Aからの通学路安全対策要望の優先順位を考慮しつつ、事業の緊急性・必要性を判断して実施している。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	「通学路交通安全プログラム」による年度計画により、グリーンベルト、カラー舗装、外側線設置などの安全対策整備を進めた。
令和6年度に見直しを実施している事項	「通学路交通安全プログラム」による実施事業の効果検証および年度計画の見直しについて、学校関係者・警察・道路管理者等で意見交換しながら進める。
今後見直しを検討する事項	「通学路交通安全プログラム」による整備箇所の追加更新に伴い、新たな実施計画を策定する。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
グリーンベルト、カラー舗装の維持補修	通学路の安全対策として、グリーンベルトやカラー舗装の要望が増加し整備を進める一方で、経年劣化により再整備が必要な箇所も見受けられるため、新規とともに再塗装など維持補修についても検討する。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	3	2	河川改良維持費	306

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	河川施設管理
事業目的	準用河川、普通河川、法定外公共用物（水路）、調整池及びその附属施設を健全に維持管理することで、市民生活に支障が無いよう地域排水機能を維持する。
事業内容	<p>●事業の全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 準用河川、普通河川、法定外公共用物（水路）、調整池及びその附属施設を健全に維持管理する。 <p>●主な事業内容</p> <p>○河川施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気料金（上坂公園調整池外14） 1,130,604円 高根洞工業団地水処理施設管理業務委託（点検・分析等、汚泥処理） 18,885,900円 ポンプ保守点検委託（上坂公園調整池外10 点検2回/年） 1,760,000円 堰等保守点検委託 891,000円 河川排水路維持管理委託（地元要望 草刈・浚渫等） 40件 10,483,913円 河川排水路維持工事（地元要望） 36件 9,912,100円 高根洞工業団地水処理施設維持工事 2,970,000円 雨水貯留浸透施設設置費補助金 195,900円 <ul style="list-style-type: none"> 雨水タンク：7件、雨水浸透柵：1件 雨水浸水防止施設設置費補助金 384,200円 <ul style="list-style-type: none"> 浸水防止壁：2件
事業の成果・効果	河川、排水路や調整池等において、施設の運転管理や保守点検、除草や浚渫、補修工事を行うなど、適正に維持管理を行った。

II : 個別事業内訳

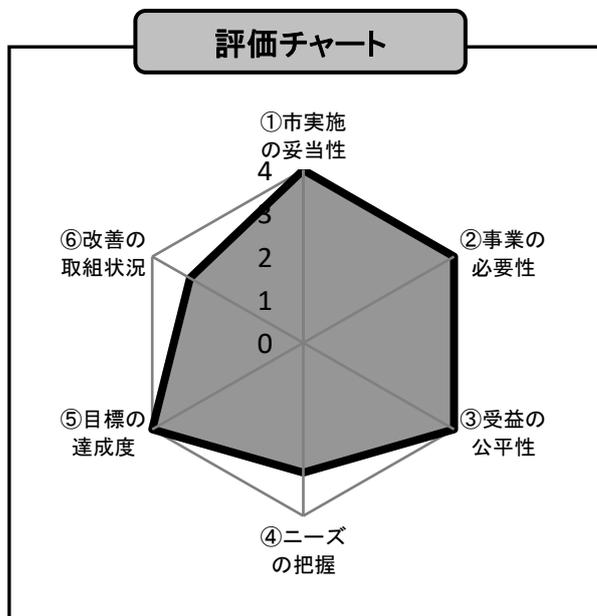
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
河川施設管理	46,822	4,587	42,235	90%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	46,822	4,587	42,235	90%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		46,230	46,822	60,818
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	5,236	4,587	4,106
	一般財源	40,994	42,235	56,712
一般財源の割合		89%	90%	93%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	犬山市法定外公共用物の管理に関する条例第2条の規定により、排水路等の管理は市が行う。
②事業の必要性	4	地域排水機能を維持するためには、排水路等の適正な維持管理を継続していく必要があり、事業継続は必須である。
③受益の公平性	4	市内全域の排水路等の事業であるため、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	地元からの土木要望により、利用者の要望（ニーズ）を把握している。
⑤目標の達成度	4	水路関係の令和5年度要望に関する実施率は59.5%で、年度目標値40%を達成した。
⑥改善の取組状況	3	地元要望箇所について現地調査を行い、事業効果や危険度が高い箇所など優先度を判断し、維持補修等の対応を適宜実施する。予算規模が大きくなる場合は、修繕計画をたて予算の平準化を図りながら進める。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 地元要望箇所について現地調査を行い、事業効果や危険度が高い箇所など優先度を判断し、維持補修等の対応を適宜実施した。 河川（樋戸川、幼川）の浚渫について年次計画を策定した。 上野久保見地区排水対策の検討を行った。
令和6年度に見直しを実施している事項	地元要望箇所について現地調査を行い、事業効果や危険度が高い箇所など優先度を判断し、維持補修等の対応を適宜実施する。予算規模が大きくなる場合は、修繕計画をたて予算の平準化を図りながら進める。
今後見直しを検討する事項	施設点検により劣化や損傷状況を把握し、適切な時期に施設の改築・更新を行うことで長期的な維持管理コスト縮減を図る。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
地元ボランティア活動者の高齢化等による、河川・排水路の日常管理（清掃・除草等）の低下	雑草繁茂については、除草委託や張コンクリート・防草シート等による雑草抑制対策など、現場状況に合った手法をコスト面も踏まえて検討する。また、地域活動による除草管理を継続して頂けるよう支援策についても検討する。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
7	4	6	公園管理費	316

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	都市公園維持管理
事業目的	都市公園等を安心、安全に使用できるよう適正に維持管理することで、子どもたちの遊び場、健康維持増進、身近に自然とふれあう場や潤いのある空間とし、市民に提供する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等の施設管理者として、施設を常時良好な状態に保つよう清掃、除草、樹木剪定、遊具等施設の点検及び修繕等を行うなど、利用者の安心・安全に支障を及ぼさないよう管理する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○都市公園維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園等維持管理業務委託（清掃、除草、ゴミ等の処理など日常的な維持管理） 町内会等（76団体）との都市公園等（133施設）管理業務委託 7,927,774円 都市公園等維持管理業務委託（内田防災公園外12） 10,065,000円 ・維持管理業務委託 19,360,000円 （木曽川犬山緑地、犬山ひばりヶ丘公園、山の田公園、犬山丸の内緑地、石作公園、上坂公園） ・遊具保守点検業務委託（年6回） 2,376,000円 ・公園設備保守点検業務委託（電気設備及びポンプ、機械設備） 550,000円 ・公園便所浄化槽清掃保守点検業務委託 277,200円 ・樹木剪定業務委託 6,168,800円 ・除草業務委託 5,698,000円 ・倒木処理・はみ出し枝処理業務委託 11件 1,237,500円 ・砂場細菌検査業務委託 1,004,300円 ・花と緑のあるまちづくり事業委託（公園花壇等への花の苗植付・管理等） 2,937,000円 ・都市公園等維持管理工事（地元要望、公園LED化等） 79件 20,541,994円 ○都市公園営繕 <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ洋式化工事（上野北公園、上野南公園） 3,058,000円
事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公園を安全で快適に利用できるよう、年間通して施設管理を行っている。 ・電気料金など維持管理費の削減を図るため、令和2年度から計画的に進めてきた都市公園照明灯のLED化が完了した。

II : 個別事業内訳

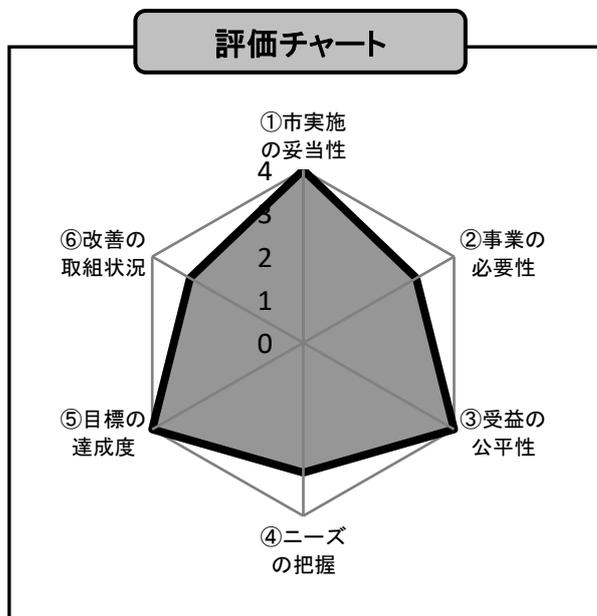
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
都市公園維持管理	85,137	3,156	81,981	96%	3	3	3
都市公園営繕	3,058	0	3,058	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	88,195	3,156	85,039	96%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		86,679	88,195	101,036
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	5,914	3,156	1,947
	一般財源	80,765	85,039	99,089
一般財源の割合		93%	96%	98%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	行政財産であり、市が主体で管理するもの。
②事業の必要性	3	市民の日常生活に直結しているものではあるが、非常時においては、最低限の維持管理とし、要望事業の縮小もやむを得ない。
③受益の公平性	4	不特定多数の人が利用し恩恵を受ける事業と考えられる。
④ニーズの把握	3	地元からの要望書により、利用者のニーズの把握に努める。ひばりヶ丘公園は、近隣市町からの来訪者も多いため、幅広くニーズを把握し、応えていく必要がある。
⑤目標の達成度	4	令和5年度公園要望に対する実施率は80.7%で、年度目標値80%を達成した。
⑥改善の取組状況	3	近年の厳しい財政状況の中、園内清掃や除草等については、現状の内容・回数確保に努めている。また、遊具等については、年6回の保守点検結果や市民からの要望等を受け補修・改修を行い、事故等の発生防止に努めている。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から計画的に進めてきた都市公園照明灯のLED化が完了した。 公園の適正管理と利用向上に向けたアンケート調査を実施した。 公園等の日常管理(除草・清掃など)について、町内委託料を見直し増額した。
令和6年度に見直しを実施している事項	<ul style="list-style-type: none"> 公園等の日常管理(除草・清掃など)について、町内会等での実施困難の申し出が増えてきたことから、公園維持管理の手法について検討する。 地域にとって魅力ある公園とするため公園再整備計画の策定を行う。
今後見直しを検討する事項	策定した整備計画に基づき、公園再整備に順次取り組む。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
地域による公園管理の継続	地域が希望する形で公園再整備を行うことで、公園の魅力向上を図り、地域による維持管理の継続を促す。

令和5年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
10	2	1	道路橋梁施設災害復旧費	398

部局名	都市整備部
課名	土木管理課

I : 事業概要

施策事業名	道路橋梁災害復旧
事業目的	集中豪雨、台風等の自然災害により被災した道路、橋梁施設を迅速に機能復旧する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害により被災した道路、橋梁施設の復旧に係る現地測量・調査及び設計等の委託業務 ・災害復旧工事の実施 ●決算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・道路災害復旧工事 4件 1,442,100円
事業の成果・効果	大雨により道路へ流出・堆積した土砂や、倒木を迅速に撤去し、通行可能な状況に復旧できた。

II : 個別事業内訳

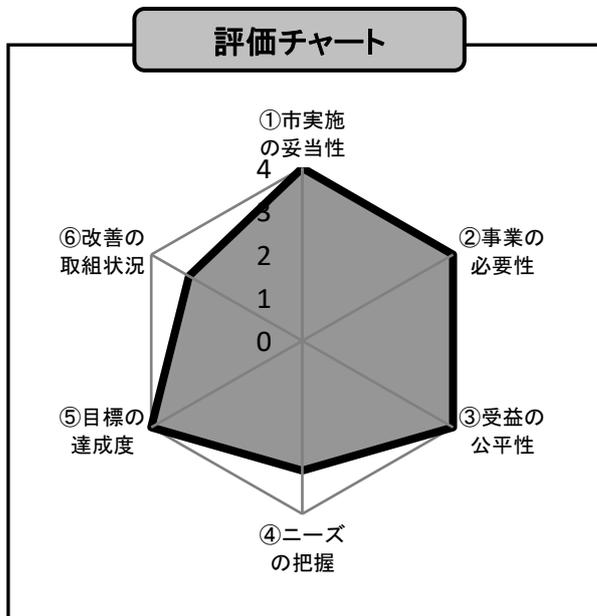
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務適正化
道路橋梁災害復旧	1,442	0	1,442	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,442	0	1,442	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R4決算	R5決算	R6予算
		3,457	1,442	12,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,457	1,442	12,000
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	道路法16条の規定により市道の管理はその路線の存する市が行う。
②事業の必要性	4	ライフラインである道路施設を適正に管理することは行政の責務であり、必須な事業である。
③受益の公平性	4	市内全域の道路等の事業であるため、不特定多数の市民が恩恵を受ける事業である。
④ニーズの把握	3	災害復旧については、早急な対応を要望されている。
⑤目標の達成度	4	災害復旧という事業の性質上、年度当初に数値的な目標・計画を立てられないが、今年度発生した被災箇所の復旧については、迅速に対応することができた。
⑥改善の取組状況	3	補助金活用による財源確保や、工法検討、効率的な事業実施などによりコスト削減を図る。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和5年度に見直しを実施した事項	悪天候時の道路パトロールを効率よく実施するため、大雨や強風など状況に応じてコースを選定し行っている。
令和6年度に見直しを実施している事項	災害復旧については原形復旧が原則ではあるが、状況に合わせて形状・寸法・材質・構造などを的確に判断し実施する。
今後見直しを検討する事項	今後も引き続き、被災箇所の早期復旧を目標に進めるとともに、効率的な事業実施などによるコスト削減も検討していく。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和5年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
被災箇所の迅速な復旧	災害発生時には、被災箇所の情報収集と整理を行い、国や県などと連携し速やかに対応する。